

(別添)

財政状況等一覧表（平成18年度）

(百万円)

団体名 いすみ市

標準財政規模 (A)	臨時財政対策 債発行可能額 (B)	合計 (A)+(B)
9,549	584	10,133

1 一般会計及び特別会計の財政状況（主として普通会計に係るもの）

(百万円)

	歳入	歳出	形式収支	実質収支	地方債現在高	他会計からの 繰入金	備考
一般会計	14,763	14,109	655	633	13,828	144	基金から367 百万円繰入
普通会計	14,763	14,109	655	633	13,828	144	基金から367 百万円繰入

2 1以外の特別会計の財政状況（公営企業を含む公営事業会計に係るもの）

(百万円、%)

	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	<法適用以外> 形式収支	純損益 (実質収支)	企業債(地方 債)現在高	他会計からの 繰入金	<法適用企業> 経常収支比率	<法適用企業> 不良債務	<法適用企業> 累積欠損金	備考
国民健康保険事業会計	(歳入) 5,390	(歳出) 5,138	252	(実質収支) 252	—	543	—	—	—	基金から50 百万円繰入
老人保健医療事業会計	(歳入) 4,854	(歳出) 4,822	32	(実質収支) 32	—	451	—	—	—	
介護保険事業会計	(歳入) 2,559	(歳出) 2,469	90	(実質収支) 89	—	370	—	—	—	
水道事業会計	1,573	1,701	—	△ 128	4,792	380	92.6	—	330	法適用企業

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。
2. 法適用企業に係るもの以外のものについては、「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「実質収支」を表示している。
3. 不良債務及び累積欠損金は、正数で表示している。

3 関係する一部事務組合等の財政状況

(百万円、%)

	歳入 (総収益)	歳出 (総費用)	<法適用以外> 形式収支	実質収支 (純損益)	地方債(企業 債)現在高	当該団体の負 担金割合	<法適用企業> 経常収支比率	<法適用企業> 不良債務	<法適用企業> 累積欠損金	備考
千葉県市町村総合事務組合	33,340	32,424	916	371	3	1.5	—	—	—	普通会計
千葉県市町村総合事務組合 (交通災害共済特別会計)	153	138	15	15	—	—	—	—	—	公営事業会計
夷隅環境衛生組合	745	670	75	75	226	67.1	—	—	—	普通会計
布施学校組合	33	31	2	2	5	49.5	—	—	—	普通会計
夷隅郡市広域市町村圏事務組合	2,064	2,040	25	25	1,661	49.9	—	—	—	普通会計
千葉県後期高齢者医療広域連合	40	35	5	5	0	1.2	—	—	—	
南房総広域水道企業団	(総収益) 3,390	(総費用) 3,101	—	(純損益) 289	7,493	—	102.5	—	2,926	法適用企業 繰入金 102百万円
国保国吉病院	(総収益) 2,189	(総費用) 2,197	—	(純損益) △ 8	640	—	99.6	—	0	法適用企業 繰入金 288百万円

4 第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(百万円)

	経常損益	資本又は 正味財産	当該団体か らの出資金	当該団体か らの補助金	当該団体か らの貸付金	当該団体か らの債務保証に 係る債務残高	当該団体か らの損失補償に 係る債務残高	備考

(注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を記入している。

5 財政指数

財政力指数	0.50	実質収支比率	6.6
実質公債費比率	15.6	経常収支比率	89.4

(注) 実質公債費比率は、平成19年度の起債協議等手続きにおいて用いる平成16年度から平成18年度の3カ年平均である。